

別紙記載要領

記載する欄の行が不足する場合は、必要に応じて追加すること。

1 精神保健指定医または公益社団法人日本精神神経学会認定の精神科専門医

- ・該当する資格に関し、厚生労働省発行の精神保健指定医証の写しまたは公益社団法人日本精神神経学会発行の精神科専門医認定証の写しを添付すること。

2 依存症の医療の概要

- ・入院医療を行っている場合は（１）に、外来医療を行っている場合は（２）に記載すること。
なお、入院医療及び外来医療を行っている場合は、（１）と（２）の両方に記載すること。

3 依存症にかかる研修の受講状況

- ・研修受講修了証等の写しを添付すること。
- ・（１）～（２）は選定を希望する依存症の種別に応じて記入すること。

4 依存症にかかる診療実績

- ・入院医療を行っている場合は（１）に、外来医療を行っている場合は（２）に記載すること。
なお、入院医療及び外来医療を行っている場合は、（１）と（２）の両方に記載すること。
- ・選定を希望する依存症の種別に応じて、直近の３か年の実績を記載すること。
なお、依存症治療を開始したのが今年からであるなど、実績を記載できない場合は、その旨を欄外に記載すること。
- ・外来医療の場合、実人員及び延人員の欄は、それぞれプログラムの参加者数について記載すること。また、複数のプログラムを実施している場合は、全てのプログラムの合計参加者数を記載すること。

5 診療実績を報告する担当部署及び責任者

- ・診療実績を道が選定する治療拠点機関へ報告する担当部署と責任者の氏名を記載すること。

6 依存症関連問題に対する相談機関、医療機関、民間団体、依存症回復支援機関等との連携状況

- ・（１）～（４）は必ず記載すること。
例としては、「定期的な会合」「カンファレンス」「依存症患者の紹介」などがある。
- ・（１）～（４）以外の機関等と連携している場合は、（５）に記載すること。